

# 日赤ニュース

No. 43  
2011年

発行日：平成23年9月5日  
発行責任者：河井繁  
編集・発行：山田赤十字病院 広報委員会  
伊勢市御園町高向810番地  
☎ 0596-28-2171(代表)  
<http://www.yamada.jrc.or.jp>

## 理念

人道に基づき赤十字病院として  
質の高い医療を提供します

## 基本方針

1. 人道を掲げる赤十字の原則に基づき、人々の健康と生命の尊厳を守ります
2. 人権を尊重します
3. 個人情報保護に万全を尽くします
4. 医療水準の向上に努め、最善の医療を提供します
5. 地域医療機関との連携により、個人に合った適切な医療を提供します
6. 救急医療の充実に努めます
7. 災害時の医療救護や国際救援に貢献します
8. 健全な運営に努め、末永く地域社会に貢献します

## 新病院完成!

病院機能刷新のため平成21年10月に着工した新病院建設工事は、23か月という長い工期を経て、本年8月31日、ついに完成を迎えることができました。すでに医療機械・備品などの搬入も始まっており、移転準備はいよいよ佳境に入っています。



## 新病院の特徴

新病院建物は伊勢市の風土・景観に配慮し周囲への威圧感を抑えた低層建築で、鉄筋コンクリート造地上5階建(塔屋2階付)、地下には免震構造を備えております。延床面積は53,754m<sup>2</sup>と現病院の約1.5倍であり、広々とした診療空間が確保できます。

フロア別の主な機能としては1Fに外来機能を集約、2Fに手術・救急病棟・ICU・供給部門、3~4Fに病棟、5Fには病棟と管理部門、屋上階には防災ヘリ受け入れやドクターヘリの基地として使用可能なヘリポートを整備しました。また、それに加えて自家発電機能の充実・防災倉庫の整備など、当該地域の災害拠点病院としての機能を強化しました。

整備病床数は現在の許可病床数同様655床での運営となります。現在休床中の24床分が実質的な増床となるほか、1フロアに最大8看護単位を配置するという他に類を見

ない効率的な病床運営を行います。さらに、電子カルテを導入して診療情報の管理体制を整えることで医療の質の向上を目指します。

## 病院名称変更について

当院は明治37年に「日本赤十字社三重支部山田病院」として設立し、昭和18年に「山田赤十字病院」と改称して以来、現在までこの名称で皆様から親しまれてまいりました。「山田」とは「宇治山田町(伊勢市の前身)」が由来ですが、現在は「山田」という地名がないことから、病院名称と所在地を結び付けることが難しくなっています。そこで新病院への移転を機に、当院の所在を認識していただきやすくするため、新病院の名称を「伊勢赤十字病院」へと変更いたします。病院移転後も患者の皆様が安心して質の高い医療を受けられる病院であり続けるよう、スタッフ一同努力していきたいと考えております。

# 2型糖尿病の新しい治療



内科 医師 藤原 僚子

糖尿病には1型と2型があり、1型糖尿病は自己免疫疾患で、血糖値を下げるホルモンであるインスリンが分泌できなくなるので、インスリン自己注射が生きていくために不可欠です。日本では患者の90%が2型糖尿病ですが、遺伝的な因子に生活習慣の因子が加わり発症します。治療は食事・運動療法が基本であり、不十分な場合に薬物療法を加えていきます。最近、生活習慣の欧米化に伴い、日本人の2型糖尿病発症が急増しています。糖尿病が強く疑われる方が890万人いると言われており、予備軍を含めると2200万人、成人の4人に1人が糖尿病の可能性があるという計算になります。

糖尿病は症状がなくても、気付かない内に合併症が進行する恐ろしい病気です。そして、一旦なってしまうと良くはなっても治らない病気です。毎日食事や運動に気をつけないといけないというストレスを抱え、なおかつ薬によっては低血糖を起こしてしまう。低血糖が怖くてついつい食べる、そしてどんどんと太ってしまってまた怒られ、薬が増える、また食べ過ぎる、そんな悪循環を繰り返していませんか？

最近、糖尿病患者さんが一番恐れている低血糖や体重増加が少ない、新しい治療薬が登場しました。内服薬のDPP-4阻害薬と注射製剤のGLP-1誘導体の二つです。

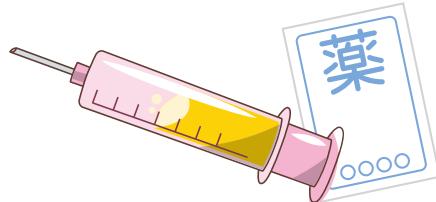
食事を摂ると、腸管からインクレチニン(GIP、GLP-1)という消化管ホルモンが分泌され、膵臓からのインスリン分泌を促進します。しかし、これらのホルモンは糖尿病患者さんでは低下

していて、なおかつ血液中に分泌されると速やかにDPP-4という酵素で分解され、作用できなくなります。この酵素の働きを封じ、インクレチニンの効果を強くしようというのがDPP-4阻害薬です。そして、DPP-4によって分解されず、GLP-1と同様の働きをする物質を直接投与するのがGLP-1誘導体となります。

これらの利点は、血糖値が高い時はインスリン分泌を増やすけれど、血糖値が低い時にはインスリンを分泌させず低血糖が起らにくいういう点です。また、空腹感も少くなり、体重増加も少ないと挙げられます。

高齢者では、低血糖を起こすと認知症が進んでしまったり、重症化したりすることもあり、また食事量にむらがあるなど、糖尿病治療が難しいことがあります。これらの薬剤ではそういった点もクリアできるというメリットがあります。

ただ、これらの薬剤も病歴が長く、コントロールが悪くてインスリンが分泌できない状態になってしまふと使用できず、やはりインスリン自己注射が最良の治療法であることもあり得ます。合併症がなく、薬剤の選択ができる段階での早めの受診、治療が望ましいと考えられます。



## Q & A

### 糖尿病教育入院とはなんですか？

糖尿病について理解を深め、その人に合った最適な治療法を見つけるための入院です。

糖尿病は自己管理が非常に大切な病気です。どのように自己管理をしていくか、内科、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士、看護師が、それぞれの専門分野から支援しています。2週間の入院期間に食事療法や運動療法を体験していただく他、ご自分で血糖値や、尿糖などの測定もしていただきます。また、合併症の進行状況について、全身をくまなく検査します。糖尿病とともに、ご自分の体についても理解を深め、快適な生活を送りましょう。

糖尿病教育入院に参加希望の方は、かかりつけ医にご相談ください。

# 地域全体の感染対策の向上をめざします

感染管理認定看護師 川口 仁美



平成21年度に感染管理認定看護師を取得し、今年で2年目となりました。感染管理認定看護師の仕事は、患者さんや病院で働くすべての人が感染症にかからないよう、活動を行うことが

中心です。具体的には、インフルエンザの流行時期には、手洗いやうがいの効果的な方法をポスターとして作成し掲示したり、病院で働く職員にはインフルエンザの症状や感染予防策について研修会を行い、患者さんや職員が感染しないよう指導を行っています。また、入院患者さんに対しては治療を行うための点滴チューブ(カテーテル)が感染を起こしてないか、病院の中で特定の微生物によって感染が起こっていないか、感染症対策チームのメンバーと協力して病棟を回り調査活動を行っています。

一度感染を起こしてしまうと、もともとの病気の治療が遅れてしまったり、入院期間が長引いたりと、いいことはありません

ん。そのためにも、患者さんを含めた皆さん、感染対策の実践者となっていただきたいと思います。手洗いやうがいをすることはもちろん、お風呂やシャワーで常に清潔を心がけること、免疫力を高めるために食事をしっかりとること、簡単にできる感染対策です。まずは、自分自身が感染に負けない体を作ることが重要と言えます。

最近では、病原性大腸菌O-157が多くの食中毒を引き起した原因菌として世の中を騒がせました。毎日のようにテレビなどを通じて関連ニュースが伝えられ、多くの情報を耳にされたと思います。多くの情報の中から正しい情報や対策を提供していくことも、感染管理認定看護師の仕事であると思います。病院の中だけでなく、地域全体の感染対策の向上に努めていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



# 患者さんやご家族の心に寄り添う救急看護をめざして

救急看護認定看護師 竹中 由佳



昨年救急看護認定看護師教育課程を修了し、2011年7月に救急看護認定看護師を取得することができました。当院では初めての救急看護認定看護師です。

救急看護認定看護師の役割は、救急外来に訪れた患者さんや急変された患者さんの苦痛や不安を軽減し、最善の処置や看護が行えるよう適切な対応ができるように調整したり、教育に関わっていくことです。

救急時には患者さんやご家族は、突然の出来事に動搖し現実を受け止めることができなかったり、医師の説明を十分に理解できないという状況になります。しかし、患者さんやご家族には、早急に大きな決断を求められることもしばしばです。そのような状況にある患者さんやご家族の意思決定を支え、精

神的な力になればと思っています。

また、救急の場面では、迅速な処置が求められます。患者さんの状態を把握し、必要な処置をいち早く行い、苦痛を軽減できるよう、医師や他の職種とのチームワークも大切にていきたいと思います。救急の場面はいつどこでどのような状況で起こるかわかりません。患者さんが安心して入院生活を送れるよう、いざという時の日常の備えとトレーニングも必要です。患者さんを一番近くで一番長く見守っている看護師として、患者さんの小さな変化を見逃さず、早期発見ができるようにし、大きな急変に至る前に対応できるようにしていきたいと思います。

救急部門でよりよい看護ができるように、私自身も経験を積み、さらに勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

# 各教室ご案内（日時については変更する場合がありますのでご確認下さい）

## 肝臓病教室 【日時・テーマ】

9月10日(土) 10:00～14:00

「C型慢性肝炎の診断と治療(肝臓病食について)」

\*食事見本がつきますので、ご予約が必要です。

\*参加費 500円

11月15日(火) 13:30～16:00

「肝硬変の合併症と治療」

【場 所】山田赤十字病院 講堂

● 申込・問い合わせ：内科受付(内線)2250

## 糖尿病教室

9月16日(金)・10月21日(金) 中止になりました。  
ご了承下さい。

11月4日(金)・12月9日(金)

【時 間】9:00～13:00

【場 所】山田赤十字病院 講堂

【参加費】500円

● 申込・問い合わせ：内科受付(内線)2250



## 敷地内禁煙

当院では  
平成22年10月1日より、  
敷地内禁煙を実施しています。



当院は、受動喫煙対策義務を定めた健康増進法を受け、平成22年10月1日より、「病院敷地内全面禁煙」となっています。「より安全で快適な環境」と皆様のご健康を守るために、駐車場を含む病院敷地内全面禁煙とされています。

病院周辺においてもマナーをお守りいただき、病院敷地内全面禁煙に皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 薬剤部 より

## 薬草紹介 センブリ (リンドウ科／属名:センブリ属)

センブリの名前の由来は、千回煎じてもまだ苦味が残っているということからつきました。

<採集方法> 花の付いた状態で、全草を乾燥し使用します。

<効き目> 内服：主に苦味健胃薬として消化不良、食欲不振、胃痛、腹痛、下痢などに用います。

外用：水虫、皮膚炎、美肌、しみに塗布します。



<使い方> 内服：乾燥した全草を粉末にして、1日3回0.03～0.15グラム(耳かき一杯ぐらい)を内服します。煎剤として使用する場合は、乾燥したセンブリ1～2本をそのまま折って、茶わんにいれ、熱湯を注ぎ、苦味成分が溶け出していくから、冷やして飲みます。2～3回使用できます。

外用：乾燥したセンブリ15グラムとホワイトリカーオリットルを漬けて密栓して冷暗所に2～3ヶ月保存し、こした液を塗布します。

## 栄養課 より

## 野菜チップスサラダ

野菜をチップスにしてサラダにのせてみました。  
野菜嫌いの人にも食べやすいメニューです。

<材料> 2人前

・レタス………50g  
・塩

Ⓐ ·じゃがいも…10g

·南瓜…………10g  
·人参…………10g  
·さつまいも…10g  
·ごぼう…………10g  
·れんこん……10g  
·いんげん……10g などお好みの野菜



<作りかた>

- Ⓐの野菜はスライサーなどで薄い輪切りにして水にさらしておく。
- ・いんげんはすじをとっておく。
- ・よく水気をとって170度程度のサラダ油でからりと揚げる。
- ・レタスは食べやすい大きさにちぎる。
- ・揚げた野菜に軽く塩をふってレタスの上にのせて一緒に食べる。

## お知らせ (お断り)

これまで日赤ニュースの裏面に掲載しておりました「各科外来診療担当表」につきましては、変更等をタイムリーに掲載することが難しいため、日赤ニュースの紙面へは掲載しないこととなりました。

外来診療担当につきましては、初診受付または各科外来に掲示しております外来担当表にてご確認くださいますよう、お願い申し上げます。